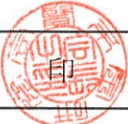


令和7年度 研究サマリー

研究会名称	腎不全研究会	
代表者所属	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	
代表者氏名	山縣 邦弘	
<p>研究方法・結果</p> <p>本研究会は、腎不全の発症と進展の防止を前提とした腎不全病態の解明と新たな治療法の創出を目的として発足いたしました。腎不全の発症や進展のメカニズム、それを防止する治療法の研究、腎不全に伴う合併症の発症機序の解明と治療法の開発、新たな血液浄化療法の開発などが新しい角度から大いに進展することを企図いたしまして、尿毒症病態研究会、腎不全病態治療研究会として活動を続けてまいりました。さらに平成22年度より、これまで蓄積した基盤を引き継ぎ、更に発展させることを目的として腎不全研究会を設立し活動を続けております。</p> <p>令和7年度は、友 雅司先生（大分大学医学部附属臨床医工学センター）、旭 浩一先生（岩手医科大学腎・高血圧内科）を代表世話人として、第15回年次研究会を日比谷国際ビル コンファレンススクエアにて開催いたしました。各セッションで非常に活発な討論が交わされました。</p> <p>*プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定講演1「腎疾患研究と時間生物学」 中島 歩 先生（山梨大学大学院腎臓内科学） ・指定講演2「慢性血液透析療法の電解質（K, Ca）動態と心筋拍動能の関係」 濱田 浩幸 先生（九州大学大学院農学研究院） ・一般演題23題 うち、優秀演題賞として、最優秀演題賞2題、特別奨励賞2題を選出 ・ランチョンセミナー1題、スポンサードセミナー1題 		
<p>研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）</p>		